

年 組 名前：

愛らしい 姿 山中湖

着く 地域 住民

観光客 見守る 村 課

湖 約 羽 生息 今月

10日 旭日丘地区 湖畔

初 確認 力所 親鳥

抱卵 巣 生まれ 休息

地元 撮影 見る 警戒心

強く 近づく 危険

育てる 可能性 担当者

遠く 呼びかけ

コブハクチョウ ひな愛らしい姿

山中湖

山中湖にすみ着くコブハクチョウのひながかえり、地域住民や観光客が見守っている。

山中湖村観光課によると、湖には約50羽のコブハクチョウが生息している。今月10日に旭日丘地区の湖畔でひな6羽がかえったのを初確認している。湖畔ではこれまでに9カ所で親鳥が抱卵している巣を確認している。

16日は親鳥と生まれたばかりのひなが湖畔で休息している姿を地元住民や観光客が撮影する姿が見られた。

親鳥は警戒心が強く、近づくと危険なほか、ストレスでひなを育てるのをやめる可能性がある。課



かえったばかりのコブハクチョウのひなと親鳥  
＝山中湖村平野

の担当者は「遠くから見守ってほしい」と呼びかけている。

〈武田寛明〉

(2024年5月22日付 山梨日日新聞 15面)

問1

山中湖にコブハクチョウは、なん羽生息し、なん羽のひながかえりましたか。

・生息数: ..... 羽 ・ひな数: ..... 羽

問2

山中湖村の担当者は、なぜ「遠くから見守ってほしい」と、呼びかけているのですか。

.....

問3

あなたが知っている湖を、たくさん書いてください。

.....